

手をわななく親と子



令和6年11月 発行:登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No39

学力と家庭生活は関係があるの？

～ データは語る ～

ほとんどのお子さんは、勉強ができるようになりたいと考えているのではないのでしょうか。また、多くの保護者の方も、お子さんの学力を高めたいと願っているのではないのでしょうか。

文部科学省が実施している全国学力学習状況調査は、教科に関する学力調査と生活に関するアンケート調査で構成されています。今年度の本市の結果（令和6年4月実施）から、学力と家庭生活の関係がうかがえるデータがありますので、紹介します。

次の3つの表は、本市の教科（国語、算数、数学）の平均正答率（％）とアンケート結果をクロス集計したものです。

Q1. 朝食を毎日食べていますか。				
	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
毎日食べている	69.7	60.1	54.5	46.8
どちらかといえば、食べている	62.7	55.0	55.4	43.6
あまりたべていない	59.7	43.8	45.2	43.1
全く食べていない	47.6	39.6	47.9	44.3

Q2. 平日、1日当たりどれくらいテレビゲーム(含オンライン)をしますか。				
	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
4時間以上	56.1	50.8	43.5	37.4
3時間以上、4時間未満	66.1	56.0	50.3	41.8
2時間以上、3時間未満	69.9	57.0	53.5	45.5
1時間以上、2時間未満	72.3	63.4	56.0	52.7
1時間以下	72.6	61.1	67.3	58.8
全くしない	77.4	59.4	57.1	40.6

Q3. 平日、1日当たりどれくらいスマホなどで、動画視聴やSNSをしていますか。(学習とゲームの時間を除く)				
	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
4時間以上	61.7	53.8	46.8	41.2
3時間以上、4時間未満	65.2	51.8	55.6	50.7
2時間以上、3時間未満	67.8	57.8	56.5	45.3
1時間以上、2時間未満	70.5	60.0	52.5	44.6
30分以上、1時間以下	74.5	60.3	56.0	49.1
30分以下	68.0	63.4	56.7	47.9
全くしない	67.0	58.5	56.7	53.9

これらの表からうかがえる傾向は、次の3つです。

- 1 毎日、朝食を食べている方が、平均正答率が高い傾向にある。
- 2 平日、1日当たりテレビゲーム(含オンライン)をする時間が短い方が平均正答率が高い傾向にある。
- 3 平日、1日当たりスマホなどで、学習以外の動画視聴やSNSを利用する時間が短い方が平均正答率が高い傾向にある。

以上のことから、学力向上には、「朝食を食べてから登校する」「放課後のテレビゲームやスマホ等の使用時間を見直し、学習する時間を確保する」など、生活リズムを整えることが大切です。親子で放課後の時間の使い方について話し合ってみてはいかがでしょうか。

また、市教育委員会では、タブレット端末を家庭学習に役立てるため、毎日の積極的な持ち帰りを進めております。「オンラインドリルの問題を解く」「考えをまとめる」「調べ学習をする」など、タブレット端末を積極的にご活用ください。

【学力向上に係るお知らせ】

市教育委員会では、地域ボランティアの協力を得て、小学生を対象に各小学校で「鬼っ子算数教室(放課後子ども学習塾)」を定期的実施し、児童用Googleアカウントからいつでも問題の解説資料が見られるようにしています。また、ご家庭でも算数の問題に取り組めるよう、市教育委員会のウェブサイト「鬼っ子チャレンジテスト」を掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

(http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/original_design_page/index_original_03.html)

なお、鬼っ子算数教室は年度途中からの参加も可能です。参加を希望される方は、お子さんが通っている学校にご連絡ください。

ひとりで悩まず相談しましょう

何か困りごとがあれば、遠慮なく相談してください。

- ◎登別市いじめ相談(教育相談)電話
☎85-0085(月~金曜日 9時から17時)
- ◎登別市教育指導室『メール相談』
Eメール: tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp